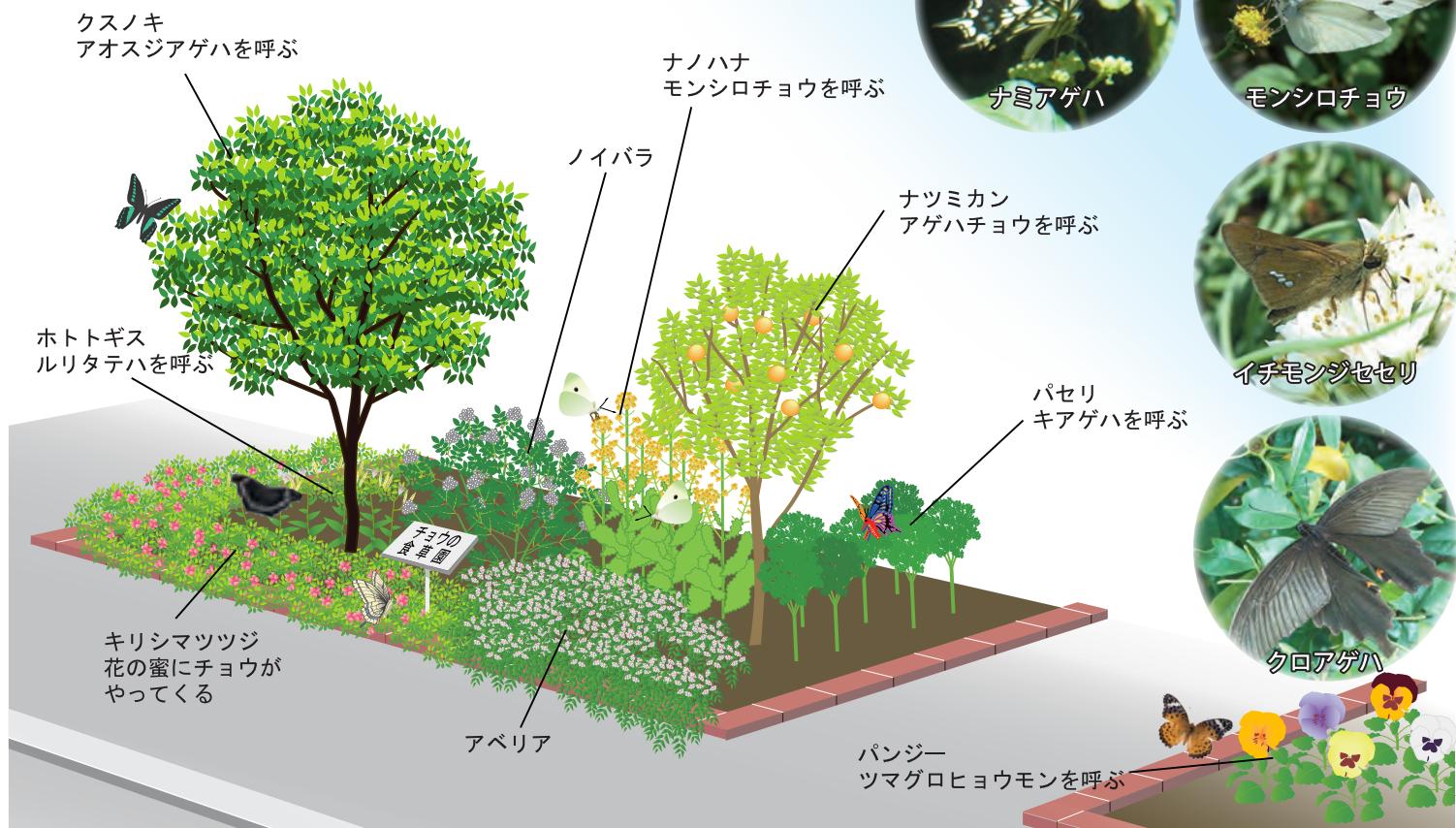
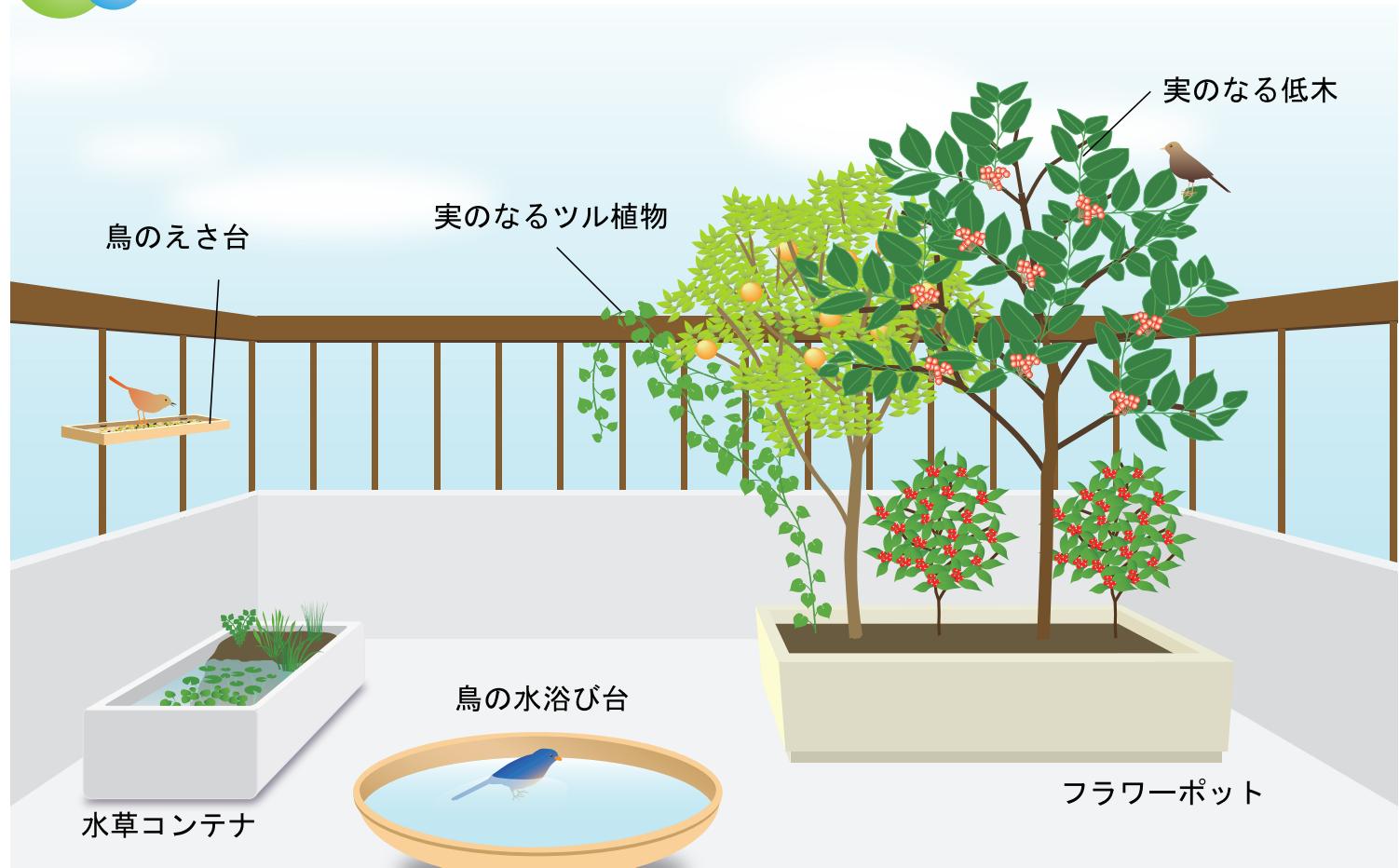


道路沿いのチョウを呼ぶ植込み手法



ベランダに生きものを呼ぶ手法



野鳥を呼ぶ緑化の手法



植物で季節の変化を感じる

春の新緑や花を楽しむ



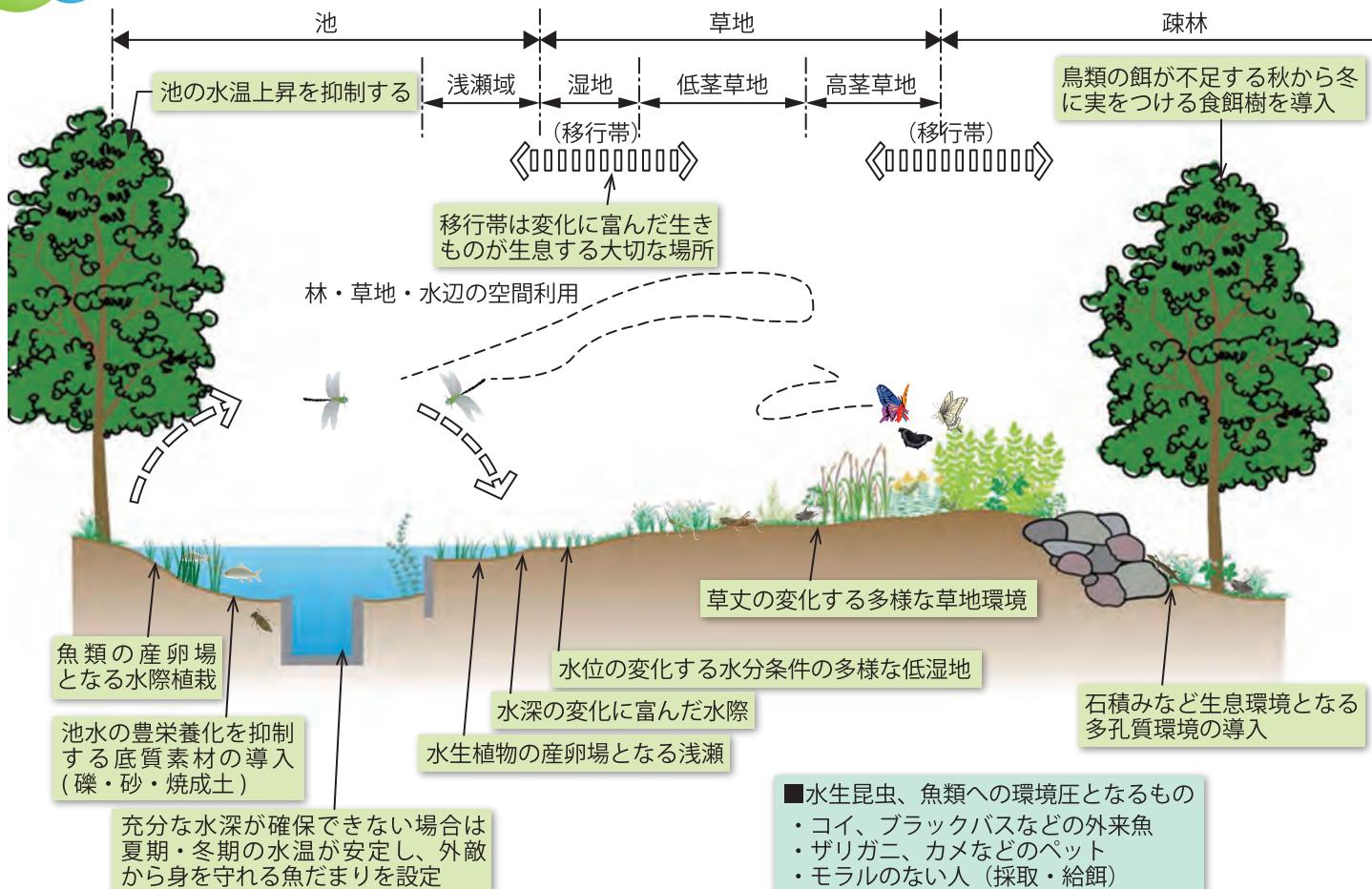
夏の緑陰を楽しむ



秋の実りや彩りを愛でる

冬のみどりを楽しむ

水辺の生きものを呼ぶ手法



土地の植物をつかう手法

- ◇ 地域に特有の豊かな自然景観をもち、多様な生きものがすむ場所として、土地の植物（在来種）の植栽による緑化をすすめます。
- ◇ 土地の歴史文化的な背景や立地条件で植物が健全に生育し生態系の底辺を形成することがわかります。

港区の在来種

スダジイ



シラカシ



イヌビワ



タブノキ



ウグイスカグラ



緑化により誘致する「生きもの」の目標種

緑地の規模や近隣の緑の状況から判断し、緑化により誘致する「生きもの」を具体的に示して目標設定します。ここでは、代表的な目標種を紹介します。

鳥類

両生類



● アズマヒキガエル

生息環境

豊かな林床や落葉がたまっている樹林地と水辺が一体の環境

指標性

港区の都心でも餌となる昆虫類が豊かな、樹林地や個人の庭に生息する



● シジュウカラ

生息環境

樹木・樹林、緑の多い市街地

指標性

声や姿で判断しやすい樹林を好む区内で広く見られる



● カワセミ

生息環境

樹林、水辺地

指標性

判断しやすい魚類等の生息する水辺環境



● コサギ

生息環境

古川、運河、内陸部の池

指標性

足の指が黄色で判別しやすい池や海でみられる

昆虫類



●トンボ類

生息環境

樹林、草地、水辺地（池、プール）

指標性

判別しやすい区内で広く見られる



● チョウ類

生息環境

花壇、植え込みなど植栽地

指標性

判別しやすい区内で広く見られる



●バッタ類

生息環境

草地

指標性

判別しやすい港区で減少している草地の指標となる

- 港区では、平成26年に「港区生物多様性地域戦略」を策定し、戦略の目標の一つである「自然や生きものと共に存できるまちづくりが進んでいる」を実現するため、緑化計画書制度を活用して公共・民間施設の建設時の緑化誘導の指針として、「生物多様性緑化ガイド」を策定しました。
- 「生物多様性緑化ガイド」は、区民や事業者の皆さんと区が一体となって生物多様性緑化への取組を進めることで、港区全体で多様性のある豊かで快適な都市の自然生態系を構築することを目的としています。

「生きもの」の生息拠点となる緑地を小規模な緑地や街路樹などでつなぎ、「生きもの」が移動できるようにすることで、「生きもの」が暮らしやすい状況をつくる必要があります。

このような、生物の移動が可能であるようにつながれた状態の生息地のネットワークを、エコロジカルネットワーク(生態系ネットワーク)といいます。



「港区生物多様性緑化ガイド」「港区緑化計画書の手引き」は、港区ホームページよりダウンロードできます。

ホーム ▶ 環境・まちづくり ▶ 環境 ▶ 生物多様性 ▶ 生物多様性緑化ガイド
ホーム ▶ 環境・まちづくり ▶ 環境 ▶ 緑化 ▶ 緑化計画書

港区生物多様性緑化ガイド 概要版

発行

港区環境リサイクル支援部 環境課

東京都港区芝公園1-5-25 電話03-3578-2111 内線2330~2331
平成28年(2016年)1月発行 発行番号:27193-5611



FSC森林認証取得用紙
植物油インク使用